

平成25年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 学務課

施設名称 [36] 東京都台東区立ことぶきこども園

指定管理者の名称 特定非営利活動法人子育て台東 指定期間 H21.4.1 ~ H26.3.31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	子育て支援事業、家庭と連携した保育事業及び0歳から5歳の一貫した教育・保育の運営事業等を行うことにより、社会教育の推進および子どもの健全育成に寄与する。
(2) 類似施設の管理実績	なし
(3) 経営状況	(24年度決算ベース) 歳入：297,552,474円 歳出：298,447,015円 当期収支差額：-894,541円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区寿1-10-9
(2) 設置目的	就学前の子どもを保護者の就労の有無に関わらず受け入れ、一貫した教育・保育を提供するとともに、併設の寿子ども家庭支援センターと連携し、地域における子育て支援を行う。
(3) 利用者	生後57日～就学前（定員210名）
(4) 開館日・時間	月～土（祝祭日・年末年始を除く） 7：00～18：00（延長保育は20：00まで）
(5) 規模	鉄筋造4階建のうち1・2階 （延床面積1926.00㎡ 屋外遊戯場1018.97㎡）
(6) 人員体制	園長（1） 副園長（1） 保育者（常勤34・非常勤4） 看護師（常勤1） 栄養士（常勤1） 事務（常勤3） 嘱託医（2） 計47名

3. 事業（サービス提供）の概要

(1) 委託事業	認定こども園の管理運営
(2) 自主事業	○希望者を対象に英語・絵画造形・体操・剣道の選択制クラブを実施（週1回実施、月謝等は保護者負担） ○緊急保育の実施 ○寿子ども家庭支援センターとの交流事業（ふれあいタイム）

4. 予算決算の推移

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	—	234,005,000	260,092,000	257,244,000	260,895,000
	利用料金収入	—	6,453,000	2,500,000	4,150,000	5,014,000
	その他収入	—	2,660,000	1,000,000	1,500,000	1,314,000
	管理経費	—	243,118,000	263,592,000	262,894,000	267,223,000
決算	委託料	—	193,548,035	234,566,684	246,259,646	252,174,194
	利用料金収入	—	2,503,670	4,151,840	5,358,547	6,207,900
	その他収入	—	1,038,373	1,532,645	1,314,238	1,565,018
	管理経費	—	191,462,700	226,323,484	243,381,663	262,036,662
	収支	—	5,627,378	13,927,685	9,550,768	-2,089,550

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	21年度	22年度	23年度	24年度
定員	人	193	204	207	210
年間保育日数	日	293	294	295	293

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値 (26年度)	22年度	23年度	24年度
入所児童数（10.1現在）	人	213	178	192	207

7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み					
<p>・こども園運営連絡協議会や公開保育などの園行事に出席するなど、園の運営状況把握に努め指導・助言を行なった。</p>					
8. 評価項目		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。		
評価の観点	評価項目				
(1) 事業の運営 平均 [2.3]	(a) 施設の目的達成 (b) サービス水準 (c) 職員配置 (d) 職員研修 (e) 案内・接遇	[2] [2] [2] [3] [2]	(f) 開館時間等の遵守 (g) 自主事業の成果 (h) 個人情報保護 (i) 緊急時対応 (j) 警備・防犯体制	[2] [3] [2] [3] [2]	
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 (b) 備品の管理 (c) 清掃・衛生管理 (d) 施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e) 危険箇所等の確認 (f) 管理記録の作成・保存 (g) 業務委託の事前承認 (h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]	
(3) 利用者の満足度 平均 [2.4]	(a) 利用者・第三者機関の評価 (b) 苦情・要望への対応と報告 (c) 利用者数の目標達成	[2] [2] [3]	(d) 利用しやすい環境整備 (e) 関係団体・地域との関わり	[3] [2]	
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 (b) 経費縮減のための取組み	[2] [2]	(c) 収支計画の達成 (d) 利用料等の徴収・管理	[2] [2]	
9. 評価		S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。			
評価の観点	評価	説明			
(1) 事業の運営	S	緊急時対応として、毎月の避難訓練のほか、保護者への緊急連絡メール配信を行い、利用者の安全・安心に努めている。自主事業の緊急保育は、24年度の利用実績が23年度の1.5倍になるなど成果が上がっている。			
(2) 施設の維持管理	A	毎月1日に全職員で施設・設備の点検を実施し、緊急性のあるものについては早急に区に連絡している。			
(3) 利用者の満足度	S	毎年実施している保護者アンケート結果では、高い評価を得ており、入園希望者説明会の参加者も定員の4倍（短時間）・7倍（長時間）と関心の高さがうかがえる。また定期的に外部講師を招きアドバイスを受け、教育・保育の環境整備を行っている。			
(4) 収入支出	A	職員の給与を見直したことで、支出が収入を上回ったものの、長期計画に沿った収支の取組みができている。			
10. 総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適			
		良好	保護者の満足度も高く、職員向けの研修を重視するなど、質の高い幼児教育・保育サービスを提供しており、良好な管理運営が行われている。		
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応					
<p>・利用者ニーズを的確に捉えるためにも、利用者とのコミュニケーションを大切にする。 ・利用者に不安を与えないためにも労働環境を整備し、職員が長期で勤務できる環境を創り出す。</p>					